（様式１－１）

学校番号	中学7	学校名	県立竜ヶ崎第一高等学校附属中学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
県教育目標
学校教育指導方針

校訓

誠 実・剛 健・高 潔・協 和

学校の教育目標

【目指す学校像】10年先を透徹した生徒主体の探究学習
【誠実】まっすぐ学びに向かう、誠実で理知的な学びの場となる
【剛健】質・量ともに高い結果を目指し、あくなき挑戦を続ける
【協和】異文化に胸襟を開き、受容的で持続可能な社会の範となる

生徒の実態

・素直で挨拶などもよくできるが、自律した生活習慣が身に付いているとは言い難い。
・学習や学校行事などに意欲的、挑戦的ではあるが、自ら目標を定め、計画的に取り組むには教育的支援を要する。
・学習能力が高く、個性もあるが、それを自他ともに認め合う力にやや欠ける。

保護者の願い

・学習や諸活動に積極的、主体的に取り組んで欲しい。
・自他の価値観を大切にし、仲間と共に成長して欲しい。

道徳教育重点目標

・自他の生命の尊さを理解し尊重しながら、生きる喜びを見い出させる。
・法律や規則の意義を理解し、自他の権利を重んじつつ、社会の秩序と規律を高める生徒を育成する。

地域の実態

伝統のある進学校として、卒業生も多く、筑波研究学園都市・都心にも近いことから、地域の期待は大きい。

各教科・科目

国語	人生について考えを深め、豊かな人間性を養う。わが国の伝統と文化に対する関心や理解を深める。
社会	我が国と郷土を愛するとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚と公民としての資質を養う。
数学	事象を数理的に考察し筋道を立てて考え、表現する能力を培うことにより道徳的判断力を高める。
理科	自然に対する興味・関心を高め、問題解決に取り組み、自然を愛する態度と豊かな感性を育てる。
音楽	合唱や器楽等の表現活動を通して、仲間と共感する・協働する喜びや豊かな感性を育てる。
美術	表現や鑑賞の活動により創造の喜び、豊かな感性を育てる。また、自他の感性の違いに気付かせる。
保健体育	粘り強く課題をやり遂げようとする態度やルールを遵守する尊さ、協力することの感動を養う。
技術家庭	勤労の尊さや意義を理解し、望ましい生活習慣と、進んで生活を工夫して創造する態度を育てる。
外国語	外国の文化を理解し、国際的視野に立って物事を考え、世界平和と人類の幸福に寄与する精神を養う。

各学年ごとの指導の重点

1年

・生命の尊さを理解し、望ましい生活習慣を身に付け、心身健康増進を図ろうとする態度を育てる。
・周囲の人に対して感謝の気持ちをもち、思いやりの心の重要さに気付かせる。
・集団における自分の役割を自覚し、自分の責務を確実に果たそうとする責任感を育てる。

2年

・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する生徒を育てる。
・温かい人間愛の精神を深め、他者に対する思いやりの精神と道徳心を育成する。
・集団の意義について理解を深め、役割を自覚した上で集団生活の向上に努める生徒を育てる。

3年

・生命の尊厳への洞察を深め、人間として生きることに喜びを見出し、たくましく生きる生徒を育てる。
・中学最高学年としての自覚をもち、諸活動の意味を踏まえながら、自律的かつ意欲的に行動できる生徒を育てる。
・自他の権利を重んじて責務を確実に遂行し、規則を遵守した上で充実した生き方を追求する生徒を育てる。

特別活動

【学級活動】
様々な活動を通して、最後まで自分の役割を果たし、集団生活の向上に寄与しようとする態度を育てる。
【生徒会活動】
学校の一員としての自覚をもち、自己の役割や責任を果たそうとする態度を育てる。
【学校行事】
各行事へ主体的・積極的に参加する意欲を養う。

総合的な学習の時間

・生徒一人一人が総合的な学習や横断的・探究的な活動を通して、主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てる。
・粘り強く考え、主体的に判断し解決する資質や自己の生き方について考えることができる能力を養う。
・ICTを活用し、情報の収集、処理、判断をし、自分なりに整理、発表できる能力を育む。

道徳の時間の指導方針

・書いたり討論したりするなどの表現する機会を充実させ、自分と異なる考えに接する中で、自分の考えを深め、自らの成長を実感できる工夫をする。
・計画的、発展的な指導のもと各教科や特別活動等の教育活動全体を通して道徳教育の深化、統合を図る。
・道徳の内容と関連付け、情報社会で適切な活動を行うための情報モラルにも配慮する。

生徒指導

・人権尊重の精神のもと、自他の生命を大切にし、規律ある生活態度を育てる。
・社会性を育て、規範意識をもった生徒を育てる。
・スクールカウンセラーと教職員、保護者が連携し、教育相談活動を充実させる。

特色ある教育活動や体験活動

・ICTの活用を図り、必要な情報を主体的に収集、判断、処理等を行い、発信や伝達できる機会を設けるとともに、デジタルシチズンシップを育成する。
・自ら発見した課題の解決に向けた探究活動を通して、主体性、協調性を培う。
・国内外の様々な語学研修を通して異文化に関心をもつ。

学級・学校の環境の充実・整備

・教室内外の環境美化に努め、自分たちの環境を自分たちで整える態度を育てる。（清掃活動の充実、掲示物の工夫・整備）
・施設、設備の安全と維持に努める。（物を大切に扱う指導、安全点検と迅速な修理）
・読書活動や調べ学習を推進し、道徳教育に資する。
・清掃活動や奉仕活動を通して、勤労の喜びを学び、協力しようとする態度を育てる。

家庭・地域社会などとの連携

・保護者や地域に授業を公開し、意見交換を行い、地域と共に生徒の道徳観を育成する。
・PTAと協力し、生徒の健全な育成に努める。
・高等学校との交流を進め、異学年による教え合い、学び合いの機会を設ける。